

令和7年度 水道技術研修のご案内



福岡市 水道局

【目次】

1	水道技術研修のご案内	・ ・ ・ ・	1
2	研修一覧	・ ・ ・ ・	2
3	お申し込みから受講までの流れ	・ ・ ・ ・	3
4	電子申請一覧	・ ・ ・ ・	4
4	実施計画書	・ ・ ・ ・	5～16
5	要綱等	・ ・ ・ ・	17～19

1 水道技術研修のご案内

福岡市は九州の拠点都市であり、水道分野においても、九州全体の水道事業の発展に貢献できるよう、人的・技術的側面から積極的な協力・支援を行っております。そのなかで、福岡市は配水管等の実技研修が可能な研修施設を有しているため、近隣の自治体等から以前より研修を受講させてほしいという要望をいただいております。

これを受け、平成27年度に近隣の自治体等にお声掛けし、試行という形で研修を実施したところ、概ね好評をいただいたため、平成28年度から本格実施いたしております。

いずれの研修も人数に限りがある上、実費相当分として受講料をご負担いただきますが、共に技術力を高めていきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

[対象]

水道事業体の職員

[実施内容]

福岡市水道局職員向けに実施する研修に参加していただき、合同で研修を実施いたします。研修項目は2ページ以降に記載のとおりです。共に研修を受講することで、各団体間の交流や連携も深められます。

※傷害保険等には加入していませんので、研修中におけるケガ等については、各団体での対応をお願いいたします。

※研修時間中（小休憩も含む）については、禁煙となっておりますので、ご協力をお願いいたします。



3 研修一覧

研修名	福岡市水道局における対象者	実施予定日	申込締切日	受講料 (税込)	予定人数 ※1	開催場所 ※2
転入・新規採用職員研修 【実技】	①令和7年度転入職員・新規採用職員【必須】 ②令和6年度中途転入・新規採用職員【必須】 ※転入職員については、過去5年以内に水道局に在籍していた職員は【任意】とする。 ③希望する職員で所属長が認めた者【任意】	5月13日～16日 (1日間で4回開催)	4月22日(火) 締切	11,000 円	120人	研修所
管路等付属設備研修	①所属長が必要と判断する職員【必須】 ②希望する職員で所属長が認めた者【任意】	6月3日～5日 (1日間で3回開催)	5月13日(火) 締切	13,200 円	48人	研修所
浄水技術研修 【基礎】	①浄水部における勤務経験が1年目の職員【必須】 ※勤務経験は過去の勤務実績を含む ②浄水部における直近の勤務実績から5年間以上経過した 令和7年度転入職員【必須】 ③所属長が必要と判断する職員 ④希望する職員で所属長が認めた者【任意】	6月26日	6月5日(木) 締切	3,300 円	60人	夫婦石浄水場
一般及び耐震継手研修 【基礎】	①管布設業務に携わる所属の職員で、所属長が必要と判断する職員【必須】 ②希望する職員で所属長が認めた者【任意】	7月8日～10日 (1日間・3回開催)	6月17日(火) 締切	15,400 円	48人	研修所
給水継手研修 【基礎】	①給水装置の設計・工事・審査業務に携わる所属の職員で、所属長が必要と判断する職員【必須】 ②希望する職員で所属長が認めた者【任意】	7月23日～25日 (1日間・3回開催)	7月2日(水) 締切	16,500 円	36人	研修所
断水洗管研修 【基礎】	①所属長が必要と判断する職員【必須】 ②希望する職員で所属長が認めた者【任意】	7月29日～31日 (1日間・3回開催)	7月8日(火) 締切	23,100 円	48人	研修所
大口径継手研修	①大口径の管布設業務に携わる所属職員で、所属長が必要と判断する職員【必須】 ②希望する職員で所属長が認めた者【任意】	11月5日	10月15日(水) 締切	27,500 円	8人	研修所
一般及び耐震継手研修 【フォローアップ】	①管布設業務に携わる所属職員で、所属長が必要と判断する職員【必須】 ②希望する職員で所属長が認めた者【任意】 ※①、②ともに一般及び耐震継手研修【基礎】を今年度受講予定の職員、または過去3年以内に受講した職員。	10月15日、16日 (1日間・2回開催)	9月24日(水) 締切	13,200 円	32人	研修所
給水継手研修 【フォローアップ】	①給水装置の設計・工事・審査業務に携わる所属の職員で、所属長が必要と判断する職員【必須】 ②希望する職員で所属長が認めた者【任意】 ※①、②ともに給水継手研修【基礎】を今年度受講予定の職員、または過去3年以内に受講した職員。	10月1日、2日 (1日間・2回開催)	9月10日(水) 締切	14,300 円	32人	研修所

※1 予定人数は、福岡市水道局職員を含んだ全ての人数です。

※2 開催場所について

- ・福岡市水道技術研修所・・・福岡県福岡市西区大字羽根戸486
- ・夫婦石浄水場・・・・・・・福岡県福岡市南区大字桧原853-6

申込人数の調整について

予定人数を超えるお申込みがあった場合、各自治体1名までなど、参加人数の調整をお願いすることがあります。

調整が必要な場合は、事務局よりご連絡いたしますので、ご協力をお願いいたします。



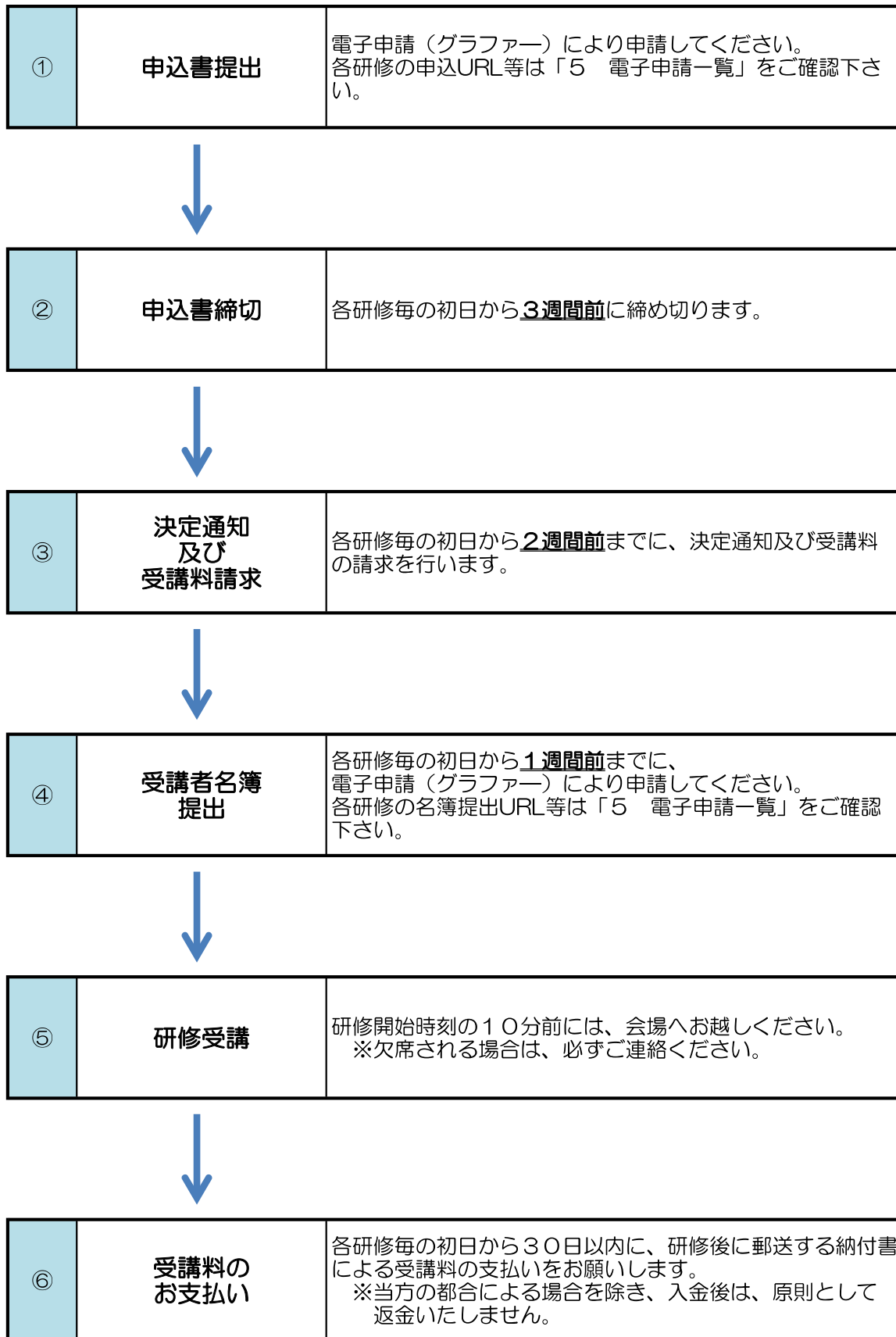
<研修についての問い合わせ先>

総務課職員係 電 話：092-483-3112

FAX：092-482-1376

E mail：fukuokasuidokenshu@city.fukuoka.lg.jp

4 お申し込みから受講までの流れ



5 電子申請一覧

研修名		URL	申請QRコード
転入・新規採用職員研修 【実技】	申込	https://ttzk.graffer.jp/city-fukuoka/smart-apply/apply-procedure-alias/kensyu20250513	
	名簿	https://ttzk.graffer.jp/city-fukuoka/smart-apply/apply-procedure-alias/kensyumeibo20250513	
管路等付属設備研修	申込	https://ttzk.graffer.jp/city-fukuoka/smart-apply/apply-procedure-alias/kensyu20250603	
	名簿	https://ttzk.graffer.jp/city-fukuoka/smart-apply/apply-procedure-alias/kensyumeibo20250603	
浄水技術研修 【基礎】	申込	https://ttzk.graffer.jp/city-fukuoka/smart-apply/apply-procedure-alias/kensyu20250626	
	名簿	https://ttzk.graffer.jp/city-fukuoka/smart-apply/apply-procedure-alias/kensyumeibo20250626	
一般及び耐震継手研修 【基礎】	申込	https://ttzk.graffer.jp/city-fukuoka/smart-apply/apply-procedure-alias/kensyu20250708	
	名簿	https://ttzk.graffer.jp/city-fukuoka/smart-apply/apply-procedure-alias/kensyumeibo20250708	
給水継手研修 【基礎】	申込	https://ttzk.graffer.jp/city-fukuoka/smart-apply/apply-procedure-alias/kensyu20250723	
	名簿	https://ttzk.graffer.jp/city-fukuoka/smart-apply/apply-procedure-alias/kensyumeibo20250723	
断水洗管研修 【基礎】	申込	https://ttzk.graffer.jp/city-fukuoka/smart-apply/apply-procedure-alias/kensyu20250729	
	名簿	https://ttzk.graffer.jp/city-fukuoka/smart-apply/apply-procedure-alias/kensyumeibo20250729	
大口径継手研修	申込	https://ttzk.graffer.jp/city-fukuoka/smart-apply/apply-procedure-alias/kensyu20251105	
	名簿	https://ttzk.graffer.jp/city-fukuoka/smart-apply/apply-procedure-alias/kensyumeibo20251105	
一般及び耐震継手研修 【フォローアップ】	申込	https://ttzk.graffer.jp/city-fukuoka/smart-apply/apply-procedure-alias/kensyu20251015	
	名簿	https://ttzk.graffer.jp/city-fukuoka/smart-apply/apply-procedure-alias/kensyumeibo20251015	
給水継手研修 【フォローアップ】	申込	https://ttzk.graffer.jp/city-fukuoka/smart-apply/apply-procedure-alias/kensyu20251001	
	名簿	https://ttzk.graffer.jp/city-fukuoka/smart-apply/apply-procedure-alias/kensyumeibo20251001	

令和7年度 水道局職員研修 実施計画書

研修名	転入・新規採用職員研修【実技】		
体系分類	水道局職員研修＞局研修＞基礎研修＞転入・新規採用職員研修		
所管課	総務課、技術企画課		
研修概要	導・送・配・給水施設に係る現場作業の実技体験		
目標	水道事業の概要を理解するとともに、転入・新規採用職員同士が相互に連携して仕事にあたることの重要性を認識する		
対象者	①令和7年度転入職員・新規採用職員【必須】 ②令和6年度中途転入・新規採用職員【必須】 ※転入職員については、過去5年以内に水道局に在籍していた職員は【任意】とする。 ③希望する職員で所属長が認めた者【任意】		
実施期間	5月13日（火）～5月16日（金）（1日間・4回開催）		
開催場所	水道技術研修所（羽根戸）		
講師	実技内容に応じた業務の担当部署		
内容	時間	担当	内容
	10:00～10:05	総務課	開講挨拶
	10:05～10:15	技術企画課	準備体操
	10:15～10:20	—	各班で自己紹介
	10:20～15:40 (60分の4コースをローテーション) 10:20～11:20 [11:20～11:30 休] 11:30～12:30 [12:30～13:30 昼休み] 13:30～14:30 [14:30～14:40 休] 14:40～15:40	技術企画課	○ダクタイル鋳鉄管接合 ・K形継手接合、解体 目的 実物に触れることで『ダクタイル鋳鉄管とは何か』をK形の接合・解体を通して知る
		技術企画課	○導・送・配水管弁柱類の説明、操作実技 ・充水洗管 目的 水の安定供給に必要な現場作業を体験する
		節水推進課	○給水装置 ・水道メータの取付け、取外し ・蛇口コマ替 目的 ・料金徴収に欠かせないメータの管理と作業内容を知る ・蛇口のコマ替を通して水圧を体感する
		管修理課	○漏水防止 ・漏水探知機器等の操作 ・漏水量の推測 目的 「節水型都市づくり」の重要な施策である漏水防止に関する調査方法を知る
	15:50～16:20	管修理課	○漏水修理 ・修理の実演（木栓打ち、特殊三割継輪） 目的 節水型都市づくりに伴う緊急時（漏水事故）の修理方法を知る
	16:20～16:30	技術企画課	○不良継手の離脱実演 目的 離脱実演を体験することで、施工管理の重要性を知る
	16:30～16:50	総務課	意見交換、アンケート
備考	○持参物について 筆記用具、名札、ヘルメットまたは帽子、作業服、安全靴、軍手、雨合羽（雨天時）、着替え ○昼食は、各自でご準備ください。 ※外部団体職員も受け入れる研修として実施（外部団体職員については、ヘルメット貸出可能）		

令和7年度 水道局職員研修 実施計画書

研修名	管路等付属設備研修																				
体系分類	水道局職員研修＞局研修＞技術養成研修＞業務履行力研修																				
所管課	技術企画課																				
研修概要	弁柱類の構造解説及び操作【座学及び実技】																				
目標	管路の付属設備及び給水装置に関する基礎的な知識、技能を学ぶ。																				
対象者	①所属長が必要と判断する職員【必須】 ②希望する職員で所属長が認めた者【任意】 【2班体制 1回最大16人】 ★おすすめの職員★ ・新たに水道局に配属された技術職（主に土木、電気、機械）の方 ・基礎的な知識、技能を復習したい方																				
実施期間	6月3日（火）、6月4日（水）、6月5日（木）【1日間・3回開催】																				
開催場所	水道技術研修所																				
講師	技術企画課、水道サービス公社給水管理課																				
内容	時間	担当	内容																		
	9:30～9:40	技術企画課	事務連絡、開講挨拶																		
	9:40～10:10		座学（基礎知識）																		
	10:10～10:20		自己紹介																		
	10:20～10:30		準備体操																		
	10:30～15:50 （移動及び休憩を含む）		<table><tr><td>演習項目</td><td>10:30 ～ 11:50</td><td>11:50 ～ 12:50</td><td>12:50 ～ 14:10</td><td>14:20 ～ 15:40</td></tr><tr><td>①仕切弁の操作方法と注意点、構造</td><td>A班</td><td rowspan="4">昼 休 み</td><td>B班</td><td></td></tr><tr><td>①空気弁及び消火栓の構造と操作、注意点 ②ブースターポンプの構造</td><td>B班</td><td></td><td>A班</td></tr><tr><td>①給水装置（青銅仕切弁・スリースバルブ・止水栓・メーター周辺・貯水槽等）の構造と注意点 ②大口径メーターの取付・取外について</td><td></td><td>A班</td><td>B班</td></tr></table>	演習項目	10:30 ～ 11:50	11:50 ～ 12:50	12:50 ～ 14:10	14:20 ～ 15:40	①仕切弁の操作方法と注意点、構造	A班	昼 休 み	B班		①空気弁及び消火栓の構造と操作、注意点 ②ブースターポンプの構造	B班		A班	①給水装置（青銅仕切弁・スリースバルブ・止水栓・メーター周辺・貯水槽等）の構造と注意点 ②大口径メーターの取付・取外について		A班	B班
	演習項目		10:30 ～ 11:50	11:50 ～ 12:50	12:50 ～ 14:10	14:20 ～ 15:40															
	①仕切弁の操作方法と注意点、構造		A班	昼 休 み	B班																
	①空気弁及び消火栓の構造と操作、注意点 ②ブースターポンプの構造		B班			A班															
	①給水装置（青銅仕切弁・スリースバルブ・止水栓・メーター周辺・貯水槽等）の構造と注意点 ②大口径メーターの取付・取外について		A班		B班																
15:50～16:20	アンケート、意見交換																				
16:20～16:30	閉講挨拶																				
備考	○持参物について 筆記用具、名札、帽子、作業服、安全靴、軍手、雨合羽（雨天時）、マスク（任意） ※安全靴等を持参できない場合は、事前に水道技術研修所にご相談ください。 ○昼食について 各自でご準備ください。 ※他水道事業体職員受け入れ対象研修																				

令和7年度 水道局職員研修 実施計画書

研修名	浄水技術研修【基礎】		
体系分類	水道局職員研修＞局研修＞技術養成研修＞業務履行力研修		
所管課	浄水調整課、設備課		
研修概要	取水から配水までの水運用、水道施設概要、浄水処理概要、水質管理、浄水薬品について		
目標	浄水処理に携わる職員に必要な基礎知識、多様な浄水施設の役割等を理解する。		
対象者	①浄水部における勤務経験が1年目の職員【必須】 ※勤務経験は過去の勤務実績を含む ②浄水部における直近の勤務実績から5年間以上経過した令和7年度転入職員【必須】 ③所属長が必要と判断する職員 ④希望する職員で所属長が認めた者【任意】		
実施期間	6月26日（水）		
開催場所	夫婦石浄水場		
講師	各担当所属、外部講師		
内容	時間	担当	内容
	9:45～10:00	設備課	○開講挨拶 ○事務連絡、ワークショップ（自己紹介等） 研修の目的、内容等の説明
	10:10～10:50	水管理課	○水運用について 水源から浄水場まで・配水池から家庭まで
	11:00～12:00	夫婦石浄水場	○浄水場の水質管理 水質管理基準、クリプトスピリウム及び水質管理の留意点等について ○官能試験実習 臭気、味覚体験
	12:00～13:00	休憩（昼食）	
	13:00～14:50	夫婦石浄水場	○水道施設の概要 取水、浄水、消毒、排水処理、送水等の過程、各施設について ○浄水場の概要（施設見学） 浄水場内（着水井～浄水池）の水処理過程、施設について
	15:00～16:00	薬品納入業者等	○使用薬品（PAC、苛性ソーダ、次亜塩素酸ソーダ、硫酸）について 薬品の性質、取り扱い、漏れ等の緊急時の対応方法について
	16:00～16:10	設備課	○事務連絡 アンケート記入
備考	○持参物について マスク、筆記用具、名札、動きやすい服（作業服等）、靴、ヘルメット等 ○昼食について <u>各自でご準備ください。</u> ※外部団体職員も受け入れる研修として実施（外部団体職員については、ヘルメット貸出可能）		

令和7年度 水道局職員研修 実施計画書

研修名	一般及び耐震継手研修【基礎】																				
体系分類	水道局職員研修＞局研修＞技術養成研修＞業務履行力研修																				
所管課	技術企画課																				
研修概要	K形・フランジ形・GX形の接合・解体演習【座学、模範演技及び実技】																				
目標	配水管（小口径）の接合、解体に関する基礎的な知識、技能を学ぶ。																				
対象者	①管布設業務に携わる所属の職員で、所属長が必要と判断する職員【必須】 ②希望する職員で所属長が認めた者【任意】 【4班体制 1回最大16人】			★おすすめの職員★ ・新たに管布設業務に携わる方 ・継手の基礎知識及び技能を復習したい方																	
実施期間	7月8日（火）、7月9日（水）、7月10日（木）【1日間・3回開催】																				
開催場所	水道技術研修所																				
講師	技術企画課																				
内容	時間	担当	内容																		
	9:30～9:35	技術企画課	事務連絡、開講挨拶																		
	9:35～10:05		座学（基礎知識）																		
	10:05～10:20		自己紹介																		
	10:20～10:30		準備体操																		
	10:30～16:15 （移動及び休憩を含む）		<table><tr><td>演習項目</td><td>10:30 ～ 12:00</td><td>12:00 ～ 13:00</td><td>13:00 ～ 14:30</td><td>14:40 ～ 16:10</td></tr><tr><td>K形継手、フランジ継手（RF、GF）接合・解体</td><td>A班 B班</td><td rowspan="3">昼 休 み</td><td>C班 D班</td><td></td></tr><tr><td>GX形継手（直管、P-Link）接合・解体</td><td></td><td>A班 B班</td><td>C班 D班</td></tr><tr><td>GX形継手（継ぎ輪（G-Link、押輪））接合・解体</td><td>C班 D班</td><td></td><td>A班 B班</td></tr></table>	演習項目	10:30 ～ 12:00	12:00 ～ 13:00	13:00 ～ 14:30	14:40 ～ 16:10	K形継手、フランジ継手（RF、GF）接合・解体	A班 B班	昼 休 み	C班 D班		GX形継手（直管、P-Link）接合・解体		A班 B班	C班 D班	GX形継手（継ぎ輪（G-Link、押輪））接合・解体	C班 D班		A班 B班
	演習項目		10:30 ～ 12:00	12:00 ～ 13:00	13:00 ～ 14:30	14:40 ～ 16:10															
	K形継手、フランジ継手（RF、GF）接合・解体		A班 B班	昼 休 み	C班 D班																
	GX形継手（直管、P-Link）接合・解体				A班 B班	C班 D班															
GX形継手（継ぎ輪（G-Link、押輪））接合・解体	C班 D班		A班 B班																		
16:15～16:35	アンケート、意見交換																				
16:35～16:45	閉講挨拶																				
備考	○持参物について 筆記用具、名札、ヘルメット、作業服、安全靴、軍手、接合要領書（K形、フランジ形、GX形）、マスク（任意） ※安全靴等を持参できない場合は、事前に水道技術研修所にご相談ください。 ○昼食について 各自でご準備ください。 ※他水道事業体職員受け入れ対象研修																				

令和7年度 水道局職員研修 実施計画書

研修名	給水継手研修【基礎】																				
体系分類	水道局職員研修＞局研修＞技術養成研修＞業務履行力研修																				
所管課	技術企画課																				
研修概要	給水管の接合演習【模範演技及び実技】																				
目標	給水管の接合、継手管理に関する基礎的な知識、技能を学ぶ。																				
対象者	①給水装置の設計・工事・審査業務に携わる所属職員で、 所属長が必要と判断する職員【必須】 ②希望する職員で所属長が認めた者【任意】 【3班体制 1回最大12人】				★おすすめの職員★ ・新たに給水装置に関連する業務に携わる方 ・継手の基礎知識及び技能を復習したい方																
実施期間	7月23日（水）、7月24日（木）、7月25日（金）【1日間・3回開催】																				
開催場所	水道技術研修所																				
講師	技術企画課																				
内容	時間	担当	内容																		
	9:30～9:35	技術企画課	事務連絡、開講挨拶																		
	9:35～10:05		座学（基礎知識）																		
	10:05～10:20		自己紹介																		
	10:20～10:30		準備体操																		
	10:30～15:50 （移動及び休憩を含む）		<table><thead><tr><th>演習項目</th><th>10:30 ～ 11:55</th><th>11:55 ～ 12:55</th><th>12:55 ～ 14:20</th><th>14:30 ～ 15:55</th></tr></thead><tbody><tr><td>ポリエチレン管（PP）の 接合・解体</td><td>A班</td><td rowspan="3">昼 休 み</td><td>B班</td><td>C班</td></tr><tr><td>①旋盤機の取扱いについて （管切断及びねじ切り） ②硬質塩化ビニルライニン グ鋼管（GP）の接合・解 体 ③塩化ビニル管（VP）の 接合</td><td>B班</td><td>C班</td><td>A班</td></tr><tr><td>①サドル付分水栓の穿孔 【模範演技及び実技】 ②異種管の接合について</td><td>C班</td><td>A班</td><td>B班</td></tr></tbody></table>	演習項目	10:30 ～ 11:55	11:55 ～ 12:55	12:55 ～ 14:20	14:30 ～ 15:55	ポリエチレン管（PP）の 接合・解体	A班	昼 休 み	B班	C班	①旋盤機の取扱いについて （管切断及びねじ切り） ②硬質塩化ビニルライニン グ鋼管（GP）の接合・解 体 ③塩化ビニル管（VP）の 接合	B班	C班	A班	①サドル付分水栓の穿孔 【模範演技及び実技】 ②異種管の接合について	C班	A班	B班
	演習項目		10:30 ～ 11:55	11:55 ～ 12:55	12:55 ～ 14:20	14:30 ～ 15:55															
	ポリエチレン管（PP）の 接合・解体		A班	昼 休 み	B班	C班															
	①旋盤機の取扱いについて （管切断及びねじ切り） ②硬質塩化ビニルライニン グ鋼管（GP）の接合・解 体 ③塩化ビニル管（VP）の 接合		B班		C班	A班															
	①サドル付分水栓の穿孔 【模範演技及び実技】 ②異種管の接合について	C班	A班		B班																
16:05～16:35	アンケート、意見交換																				
16:35～16:45	閉講挨拶																				
備考	○持参物について 筆記用具、名札、ヘルメット、作業服、安全靴、軍手、マスク（任意） ※安全靴等を持参できない場合は、事前に水道技術研修所にご相談ください。																				
	○昼食について 各自でご準備ください。																				
	※他水道事業体職員受け入れ対象研修																				

令和7年度 水道局職員研修 実施計画書

研修名	断水洗管研修【基礎】											
体系分類	水道局職員研修＞局研修＞技術養成研修＞業務履行力研修											
所管課	技術企画課											
研修概要	断水洗管演習【座学及び実技】											
目標	断水洗管に関する知識を習得するとともに、実技をとおして現場作業に従事するための基礎的な技術・技能を体得する。											
対象者	①所属長が必要と判断する職員【必須】 ②希望する職員で所属長が認めた者【任意】 【2班体制 1回最大16人】 ★おすすめの職員★ ・新たに水道局に配属された技術職（主に土木、電気、機械）の方 ・断水洗管計画を立てられるようになりたい方											
実施期間	7月29日（火）、7月30日（水）、7月31日（木）【1日間・3回開催】											
開催場所	水道技術研修所											
講師	技術企画課											
内容	時間	担当	内容									
	9:30～9:35	技術企画課	事務連絡、開講挨拶									
	9:35～9:45		各班で自己紹介									
	9:45～12:00		座学（基礎知識／ワーキンググループによる断水洗管計画作成）									
	12:00～13:00		昼休み									
	13:00～13:10		準備体操									
	13:10～16:00 （移動及び休憩を含む）		<table><tr><td>演習項目</td><td>13:10 ～ 14:30</td><td>14:40 ～ 16:00</td></tr><tr><td>①ワーキンググループで作成した断水洗管計画書を基に、断水～充水～洗管のための仕切弁及び消火栓等操作（無線機を使用）</td><td>A班</td><td>B班</td></tr><tr><td>①夾雑物排除のための立上洗管 ②貯水槽行き等の注意点</td><td>B班</td><td>A班</td></tr></table>	演習項目	13:10 ～ 14:30	14:40 ～ 16:00	①ワーキンググループで作成した断水洗管計画書を基に、断水～充水～洗管のための仕切弁及び消火栓等操作（無線機を使用）	A班	B班	①夾雑物排除のための立上洗管 ②貯水槽行き等の注意点	B班	A班
	演習項目		13:10 ～ 14:30	14:40 ～ 16:00								
	①ワーキンググループで作成した断水洗管計画書を基に、断水～充水～洗管のための仕切弁及び消火栓等操作（無線機を使用）		A班	B班								
	①夾雑物排除のための立上洗管 ②貯水槽行き等の注意点	B班	A班									
16:00～16:20	アンケート、意見交換											
16:20～16:30	閉講挨拶											
備考	○持参物について 筆記用具、名札、作業服、長靴、軍手、雨合羽（雨天時）、マスク（任意） ※長靴等を持参できない場合は、事前に水道技術研修所にご相談ください。 ※研修所保有のヘルメットを使用していただくのでヘルメットの持参は不要。 ○昼食について 各自でご準備ください。 ※他水道事業体職員受け入れ対象研修											

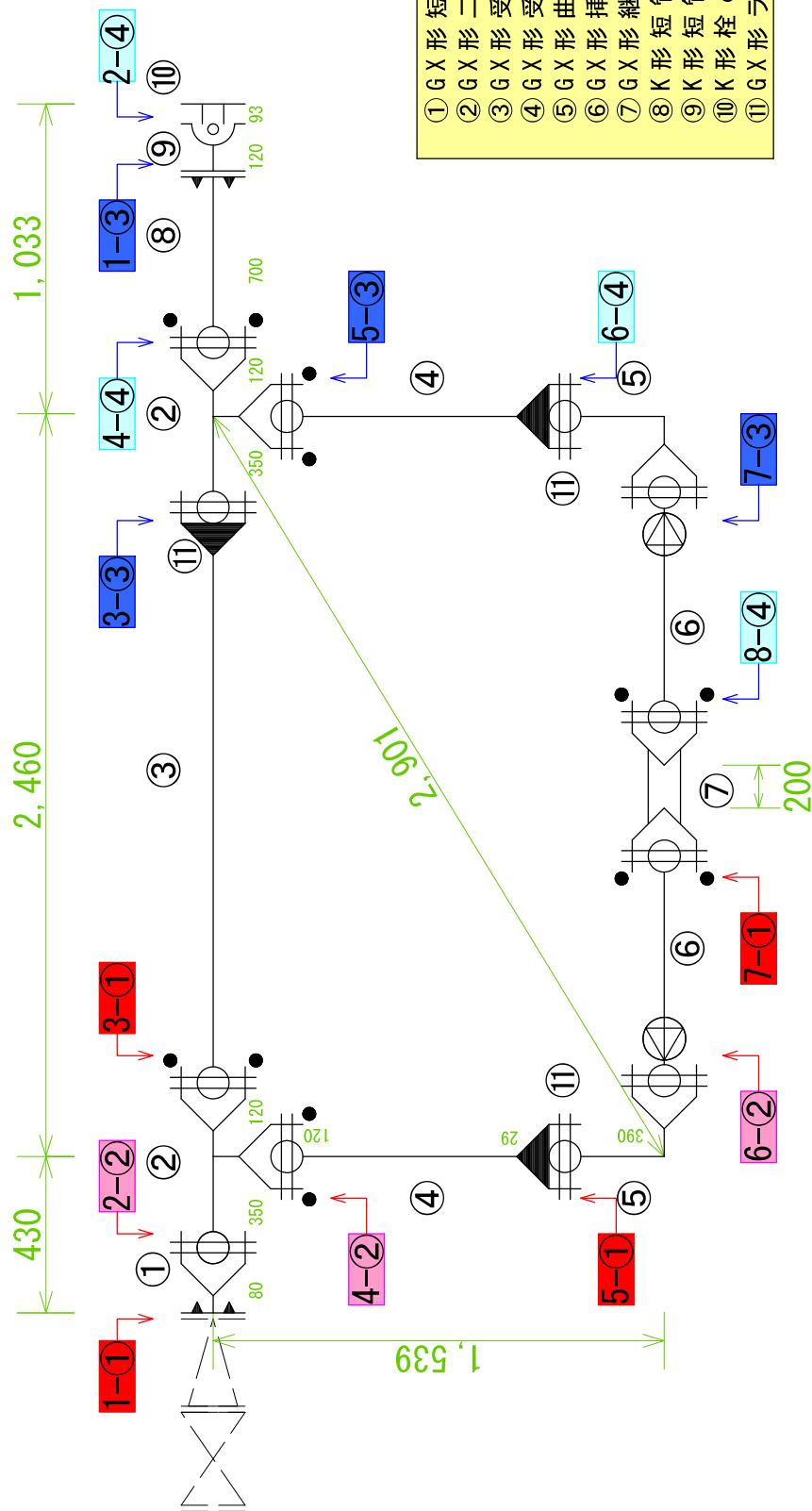
令和7年度 水道局職員研修 実施計画書

研修名	大口径継手研修													
体系分類	水道局職員研修＞局研修＞技術養成研修＞業務履行力研修													
所管課	技術企画課													
研修概要	大口径継手（φ600NS形）の接合・解体演習【模範演技及び実技】													
目標	大口径水道管の接合、解体に関する基礎的な知識、技能を学ぶ。													
対象者	①大口径の管布設業務に携わる所属職員で、所属長が必要と判断する職員【必須】 ②希望する職員で所属長が認めた者【任意】 【2班集体 1回最大8人】 ★おすすめの職員★ ・大口径の基礎知識及び技能を学びたい方（過去に受講された方の受講も可） ・大口径の維持修繕に携わる方（保全業務に携わる職員等） ・小口径と大口径の違いを学びたい方（小口径に携わる職員等）													
実施期間	11月5日（水）【1日間・1回開催】													
開催場所	水道技術研修所													
講師	技術企画課													
内容	時間	担当	内容											
	9:30～9:35	技術企画課	事務連絡、開講挨拶											
	9:35～10:05		座学（基礎知識／小口径と大口径との相違点及び、施工管理のポイント）											
	10:05～10:15		自己紹介											
	10:15～10:20		準備体操											
	10:20～10:30		大口径接手（φ600NS形）について【説明】											
	10:30～15:50 （移動及び休憩を含む）		<table><tr><td>演習項目</td><td>10:30 ～ 12:40</td><td>12:40 ～ 13:40</td><td>13:40 ～ 15:50</td></tr><tr><td>①NS形継手（直管）の接合・解体</td><td>A班</td><td rowspan="2">昼 休 み</td><td>B班</td></tr><tr><td>①NS形継手（異形管）の接合 ②切管の手順、切管寸法の算出 ③管切断の説明（キールカッター） ※移送式クレーン使用</td><td>B班</td><td>A班</td></tr></table> ※参加人数により、1班集体の場合はA班のみにになります。	演習項目	10:30 ～ 12:40	12:40 ～ 13:40	13:40 ～ 15:50	①NS形継手（直管）の接合・解体	A班	昼 休 み	B班	①NS形継手（異形管）の接合 ②切管の手順、切管寸法の算出 ③管切断の説明（キールカッター） ※移送式クレーン使用	B班	A班
	演習項目		10:30 ～ 12:40	12:40 ～ 13:40	13:40 ～ 15:50									
	①NS形継手（直管）の接合・解体		A班	昼 休 み	B班									
①NS形継手（異形管）の接合 ②切管の手順、切管寸法の算出 ③管切断の説明（キールカッター） ※移送式クレーン使用	B班	A班												
16:00～16:20	アンケート、意見交換													
16:20～16:30	閉講挨拶													
備考	○持参物について 筆記用具、名札、ヘルメット、作業服、安全靴、軍手、接合要領書【NS形（500～1,000）】、マスク（任意） ※安全靴等を持参できない場合は、事前に水道技術研修所にご相談ください。 ○昼食について 各自でご準備ください。 ※他水道事業体職員受け入れ対象研修													

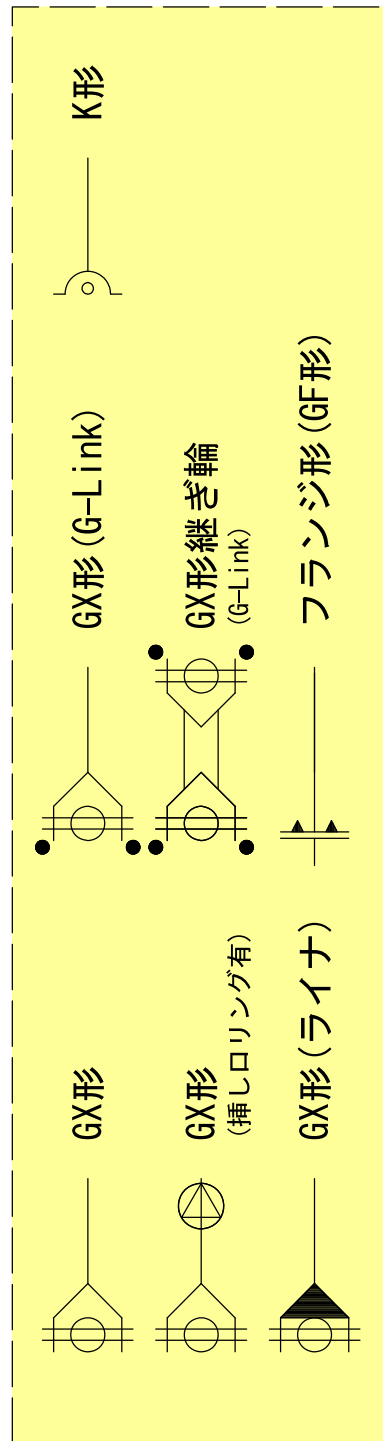
令和7年度 水道局職員研修 実施計画書

研修名	一般及び耐震継手研修【フォローアップ】		
体系分類	水道局職員研修＞局研修＞技術養成研修＞水道スキル研修		
所管課	技術企画課		
研修概要	接合要領確認のためのK形、フランジ形及びG×形の接合・解体【実技】		
目標	・水道局職員として求められる『技術上の監督業務』を遂行するため、水道管の接合要領を確認し、技術力の維持・向上を図る。		
対象者	①管布設業務に携わる所属の職員で、所属長が必要と判断する職員【必須】 ②希望する職員で所属長が認めた者【任意】 ※①、②ともに一般及び耐震継手研修【基礎】を今年度受講予定の職員、または過去3年以内に受講した職員。 【4班体制 1回最大16人】		
実施期間	10月15日（水）、10月16日（木）【1日間・2回開催】※応募者が少数の場合、どちらかの日で調整する場合がある		
開催場所	水道技術研修所		
講師	技術企画課		
内容	時間	担当	内容
	9:30～9:35	技術企画課	事務連絡、開講挨拶
	9:35～9:45		自己紹介
	9:45～10:00		準備体操・配管内容の説明
	10:00～15:00 (昼休み12時～13時)		○K形、フランジ形及びG×形の配管接合 ＊講師の助言は最小限にし、研修生が課題に基づいた配管を行うことで自分自身の課題を知る。
	15:00～16:15		チェックシート判定・耐圧試験・解体
	16:15～16:35		アンケート、意見交換
	16:35～16:45		閉講挨拶
備考	○持参物について 筆記用具、名札、ヘルメット、作業服、安全靴、軍手、 接合要領書（G×形、K形、フランジ形）、マスク（任意） ※安全靴等を持参できない場合は、事前に水道技術研修所にご相談ください。 ○昼食について 各自でご準備ください。 ※他水道事業体職員受け入れ対象研修		

一般及び耐震継手研修【フォローアップ】 現場配管図



- ① GX形 短管 1号 φ 100
- ② GX形 二受 T字管 φ 100 × φ 100
- ③ GX形 受口切管 φ 100 × 1,961
- ④ GX形 受口切管 φ 100 × 1,000
- ⑤ GX形 曲管 φ 100 × 90°
- ⑥ GX形 挿口切管 φ 100 × 1,000
- ⑦ GX形 継輪 φ 100
- ⑧ K形 短管 2号 φ 100
- ⑨ K形 短管 1号 φ 100
- ⑩ K形 栓 φ 100
- ⑪ GX形 ライナ φ 100



1 - ①

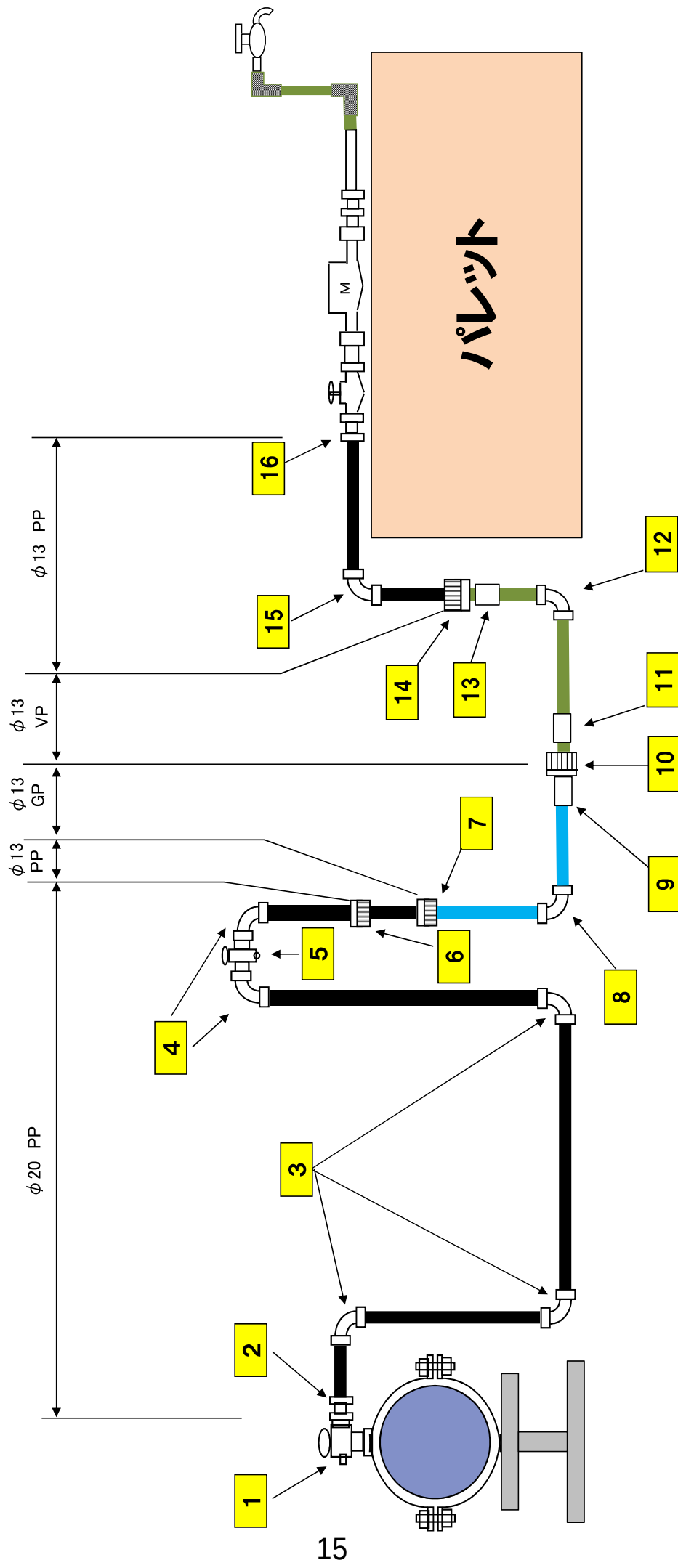
↑ 接合作業者

↑ 接合順序

令和7年度 水道局職員研修 実施計画書

研修名	給水継手研修【フォローアップ】		
体系分類	水道局職員研修＞局研修＞技術養成研修＞水道スキル研修		
所管課	技術企画課		
研修概要	接合要領確認のための給水管の接合・解体【実技】		
目標	・水道局職員として求められる『技術上の監督業務』を遂行するため、水道管の接合要領を確認し、技術力の維持・向上を図る。		
対象者	①給水装置の設計・工事・審査業務に携わる所属の職員で、所属長が必要と判断する職員【必須】 ②希望する職員で所属長が認めた者【任意】 ※①、②ともに給水継手研修【基礎】を今年度受講予定の職員、または過去３年以内に受講した職員。 【４班体制　１回最大１６人】		
実施期間	１０月１日（水）、１０月２日（木）【１日間・２回開催】※応募者が少数の場合、どちらかの日で調整する 場合がある		
開催場所	水道技術研修所		
講師	技術企画課		
内容	時間	担当	内容
	9:30～9:35	技術企画課	事務連絡、開講挨拶
	9:35～9:45		自己紹介
	9:45～10:00		準備体操・配管内容の説明
	10:00～15:00 (昼休み12時～13時)		○給水管の配管接合（サドル付分水栓、P P、G P、HIVP） ○切管寸法の算出、管切断及びねじ切りの実習 ＊講師の助言は最小限にし、研修生が課題に基づいた配管を行うことで自分自身の課題を知る。
	15:00～16:15		耐圧試験・解体
	16:15～16:35		アンケート、意見交換
	16:35～16:45		閉講挨拶
備考	○持参物について 筆記用具、名札、ヘルメット、作業服、安全靴、軍手、マスク（任意） ※安全靴等を持参できない場合は、事前に水道技術研修所にご相談ください。 ○昼食について 各自でご準備ください。 ※他水道事業体職員受け入れ対象研修		

図 給水管



【點讀】

【研究】
 研修のために、管種を複数使用する形をとっています。

福岡市の給水装置工事施行基準になっていませんのでご注意ください。
(一般時にφ50mm以下の道路上給水管については、ポリエチレン管を使用しています。)

給水工事配管材料明細表(準備資料)

番号	名称	規格	数量(1班)
1	サドル付分水栓	φ150*φ25	1
2	PPユニオンソケット	φ25*φ20	1
3	PPエルボ	φ20	3
4	PPベンド	φ20	2
5	ボール式止水栓	φ20	1
6	PP異形ソケット	φ20*φ13	1
7	PP鋼管用めねじ付ソケット	φ13	1
8	GPエルボ	φ13	1
9	GPソケット	φ13	1
10	GP・VP継手	φ13	1
11	VPソケット	φ13	1
12	VPエルボ	φ13	1
13	VPソケット	φ13	1
14	PP・VP継手	φ13	1
15	PPエルボ	φ13	1
16	PPユニオンソケット	φ13*φ13	1
既設	伸縮付甲型止水栓	φ13	1
既設	水道用メーター	φ13	1
既設	逆止弁付メーターユニオン	φ13	1
既設	上水ユニオン	φ13	1
既設	VPソケット	φ13	1
既設	上水ユニオン	φ13	1
既設	シモク	φ13	1
既設	GPソケット	φ13	1
既設	SCソケット	φ13	1
既設	GPエルボ	φ13	1
既設	給水栓	φ13	1

○福岡市水道局水道技術研修受託業務取扱要綱

(趣旨)

第1条 この要綱は、福岡市水道局（以下「水道局」という。）が、他の自治体等の水道技術の向上を目的とした水道技術に関する研修（以下「水道技術研修」という。）の実施に関する取扱い及び徴収する水道技術研修への参加に係る受講料（以下「受講料」という。）について定めることを目的とする。

(水道技術研修の内容)

第2条 水道技術研修の内容は、次の各号に定めるものとする。

- (1) 水道技術全般に関すること
- (2) 浄水に関すること
- (3) 給・配水に関すること
- (4) その他水道事業に関すること

(水道技術研修の受講対象団体)

第3条 水道技術研修の受講対象とする団体は、次の各号に定める者とする。

- (1) 地方公共団体が経営する水道事業体
- (2) 受講対象とすることが適当であると福岡市水道事業管理者が認める団体

(水道技術研修の受講申込)

第4条 水道技術研修の受講を希望する者（以下「受講申込者」という。）は、あらかじめ、福岡市水道局水道技術研修受講申込書（様式第1号）を提出しなければならない。

2 水道局は、前項の提出を受けた場合は、受講申込者に受講決定を通知するものとする。

(受講料の納入)

第5条 水道局から受講受入を承諾された者（以下「受講予定者」という。）は、定められた受講料を納入しなければならない。

2 前項の受講料は、水道局が定める納入期限までに、指定の口座へ振り込まなければならない。

(水道技術研修の中止等に係る受講料)

第6条 受講予定者が水道技術研修を受講しなかった場合、受講予定者は原則として受講料を負担しなければならない。ただし、次の各号に定める事由による場合は、この限りではない。

- (1) 水道局の都合により水道技術研修を中止又は変更した場合
- (2) 受講予定者が水道技術研修を受講しない旨を水道局へ事前に通知し、かつ受講料の納入が必要無いと水道事業管理者が認めた場合

(受講料の算定)

第7条 受講料は、原価、諸経費により算定するものとする。

2 受講料の具体的な算定方法は、別に定める「福岡市水道局水道技術研修受講料算定基準」によるものとする。

(損害の賠償責任)

第8条 水道技術研修の実施に伴い、水道局又は第三者に損害を与えた場合の補償費は、水道局又は第三者に故意又は重大な過失があるときを除き、申込者の負担とする。

2 水道技術研修実施に際して災害等により申込者に損害が発生した場合の補償費は、水道局に故意又は重大な過失がある場合を除き、水道局は負担しない。

(守秘義務)

第9条 水道局は、水道技術研修の実施過程で知り得た業務上の秘密及び個人情報等を第三者に漏らしてはならない。ただし、申込者の承諾を受けた場合はこの限りではない。

(施行の細目)

第10条 この要綱の施行について必要な事項は、総務課長が別に定める。

(適用除外)

第11条 水道事業管理者が必要と認めた場合は、この要綱の適用を除外することができる。

附 則

この要綱は、平成28年4月1日から施行する。

○福岡市水道局水道技術研修受講料算定基準

(趣旨)

第1条 この基準は、福岡市水道局水道技術研修受託業務取扱要綱第7条第2項の規定に基づき、受講料の算定に関し必要な基準を定めるものとする。

(原価)

第2条 原価には、次の各号に定める費用を算入するものとする。

- (1) 人件費
- (2) 物件費
- (3) 委託料
- (4) 減価償却費
- (5) 備消耗品費
- (6) 個別負担額

(諸経費)

第3条 諸経費は、第2条第1号の費用に対し10分の2を乗じて得た額とする。

(受講料の算定方法)

第4条 研修ごとに、前2条に規定する費用について合算した額を定員数で除して得た額を基準額として算定する。

2 基準額の1,000円未満の端数を四捨五入して1,000円単位とした額に、消費税及び地方消費税率を乗じて得た額を受講料とする。

(受講料及び施設利用料の見直し)

第5条 受講料については、次の各号の定めにより見直すことができるものとする。

- (1) 水道技術研修等の内容に変更があったとき
- (2) その他水道事業管理者が必要と認めたとき

(その他必要な事項)

第6条 この基準に定めるもののほか、受講料に関し必要な事項は、総務課長が別に定める。

附 則

この基準は、平成28年4月1日から施行する。

附 則

この基準は、平成31年4月1日から施行する。